

カポリメタルパイプ（耐候性被覆） 使用上の注意事項

1A- 359+00+020S

① この記号は、必ず実行して頂く『強制』内容です	⊘ この記号は、してはいけない『禁止』内容です	⚠ この記号は、気を付けて頂きたい『注意喚起』内容です
--------------------------	-------------------------	-----------------------------

【配管設計上の注意】

① 以下の仕様の範囲内で必ず使用して下さい。

使用温度範囲(°C)	0 ~ 95
使用流体	冷温水・不凍液
用途	給水給湯・暖房・融雪

使用温度(°C)	最高使用圧力(MPa)
0 ~ 60	1.0
61 ~ 95	0.8

- ⊘ 95°Cよりも高温を発生する熱源機器に使用してはいけません。
- ⊘ 70°Cを超える湯を常時通水または循環する配管に使用してはいけません。
- ⊘ エコキュートのヒートポンプと貯湯タンク間の湯側(戻り)配管に使用してはいけません。
- ⚠ 耐候性能は使用状況、施工方法や外因による損傷により性能が低下するため注意して下さい。
この被覆は優れた耐候性を有していますが、永久的な耐候性能を保証するものではありません。
- ⚠ 使用に際して給湯器の故障等による異常高温の発生やウォーターハンマー、脈動に注意して下さい。
- ⚠ 結露や凍結の発生に注意し、必要に応じ保温の追加処理を施して下さい。
- ⚠ 循環配管では、運転時の流体温度上昇や運転停止時の外気温上昇による管内圧力の上昇に注意し、管路に膨張弁や逃し弁等を設置して下さい。
- ⊘ 地震等により発生する大きな変位を吸収することを目的とした部位に使用してはいけません。

【保管・運搬上の注意】

- ⚠ 管を運搬、開梱、移動、設置する際はキズを付けないように注意して下さい。
- ① 管はキズが付きやすいため、放り投げたり引きずったりせず、必ず持ち上げて運んで下さい。
- ⚠ トラックでの運搬の際は管がロープや荷台の角に当たらないように注意し、クッション材で保護して下さい。
- ① 管は出荷(包装)状態のまま屋内にて保管し、紫外線劣化防止のため直射日光が当たらないようにして下さい。
やむを得ず屋外保管する場合は雨・ほこりを避け、風通しが良い場所に必ず遮光処理を施して保管して下さい。
また、施工後に余りが出た場合は、元の包装状態で保管して下さい。
- ① 保管は必ず横積みとし、積み上げ高さは1.5m以下として下さい。
- ⊘ 炎天下や極寒の場所に放置してはいけません。
- ⊘ 有機溶剤・ペンキ等と樹脂管と一緒に保管してはいけません。樹脂管が劣化する可能性があります。

【施工上の注意】

- ① 屋外で露出配管する場合は、継手と被覆の隙間には必ず適切な遮光処理を施して下さい。管は紫外線により劣化します。
- ⊘ 継手を支点にして曲げるような使用してはいけません。
- ① 必ず施工方法に応じた最小曲げ半径以上で施工して下さい。
- ⊘ 管にキズが付いた部分や座屈した部分を使用してはいけません。
- ① 管の切断には必ずパイプカッター等の専用工具を使用して下さい。
- ⊘ 二度切りをしてはいけません。管にキズが付き漏水につながります。
- ⊘ 管の発泡被覆を切除する際はカッターナイフを使用してはいけません。被覆カッターを使用して下さい。
- ① 管にマーキングする場合は必ず専用マーカ―を使用して下さい。
- ⊘ 溶接の火花、トーチランプ・ガスバーナー等の火を近づけてはいけません。
- ① 管と継手の接続までに時間(期間)がある場合には、管内に異物が入らないよう必ず養生して下さい。
- ⊘ 管は薬品等(有機溶剤・防腐剤・防蟻剤・殺虫剤・通管剤・滑剤・テープや電線等で軟質塩化ビニル(PVC)等可塑剤を含む資材・塗料)に侵されますので接触させてはいけません。
また、これらを含む土壌に埋設してはいけません。
- ⊘ 管を固定する際に、樹脂管に直接くぎ等を打ち込んではいけません。
- ⚠ 管に直接支持金具を取付ける場合は、ゴム内張または、プラスチック製を使用し管にキズがつかないように注意して下さい。
- ① 管の接続には必ず当社カポリメタルジョイントを使用して下さい。